

2017年3月18日 第15回こども急性疾患学寄付講座(神戸市) 公開講座

お薬ってホントに重要？

～こどものかぜと薬について～

神戸大学大学院医学研究科内科系講座 小児科学
こども急性疾患学部門 特命助教
南川 将吾

本日のおはなし

0. かぜ症候群とは？
1. こんな経験ありませんか？
2. 「薬が効く」とは？
3. 各種かぜ薬について
4. かぜに重要なのは・・

かぜ症候群とは



呼吸器の病気

Respiratory disease

A-01

感染性呼吸器疾患

かぜしょうこうぐん

かぜ症候群



▶ 印刷版 PDF

日本呼吸器学会の公開している
一般人むけホームページ

一般社団法人 日本呼吸器学会

http://www.jrs.or.jp/modules/citizen/index.php?content_id=2

かぜ症候群とは

- かぜ症候群は上気道（鼻・のど）から下気道（気管支・肺）にわたる炎症
- 原因の80～90%がウィルス感染
- 安静、水分、栄養補給により
自然治癒が期待される

こんな経験
ありませんか？



- 4歳 男児
- 昨晚から咳、鼻水、発熱
- 水分はとれています





これはかぜですね。
お薬を出しておきましょう



痰切り

咳止め

鼻止め

解熱薬

抗生剤





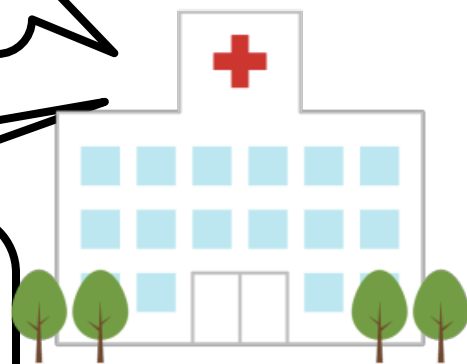
- その2カ月後
- 昨夜から咳、鼻水、発熱
- 水分はとれています





これはかぜですね。

水分が取れていて活気もあるのでお薬は無くても大丈夫です





診断：かぜ

安静・栄養・水分
で自然治癒する

A医院
たくさんの薬

B医院
薬処方なし

Q. かぜの治療において
薬は本当に重要？

そもそも・・・

「薬が効く」とは
どうやって決まる？

病気



薬あり



改善



Q. この薬は効いた？

A. そうとは限りません。

病気



薬あり



改善



薬なし



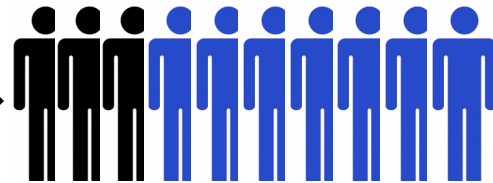
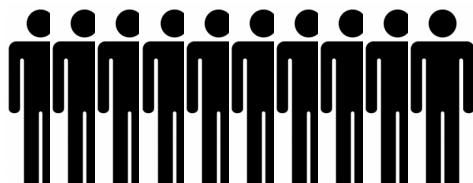
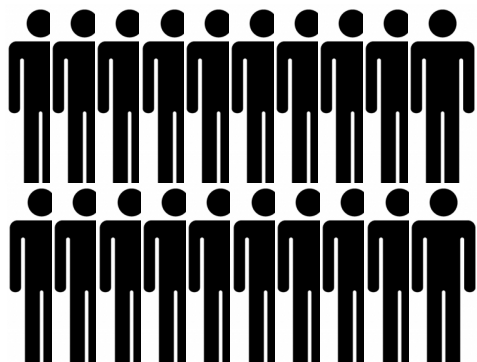
改善



病気

薬あり

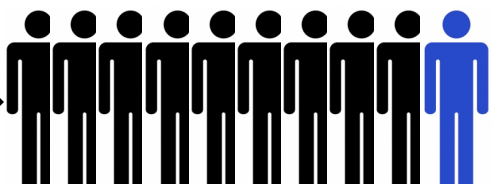
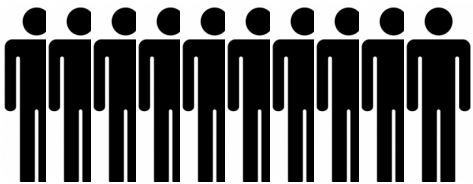
不変 : 改善
3 : 7



同意を得て
から試験開始

薬なし
(偽薬)

不変 : 改善
9 : 1



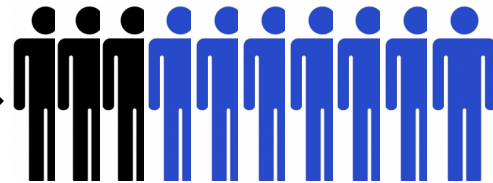
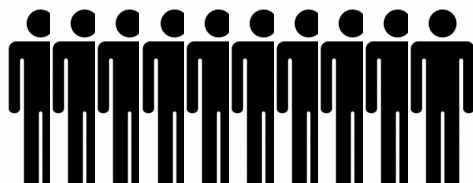
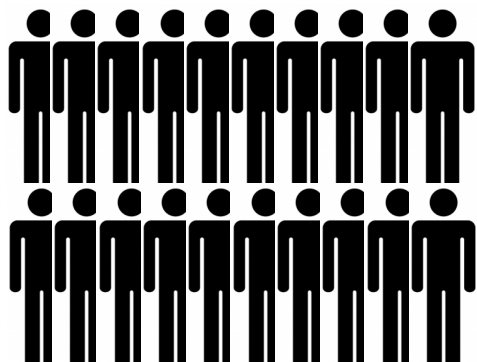
ランダムに2つ
の群に分ける

結果を比較・解析

病気

薬あり

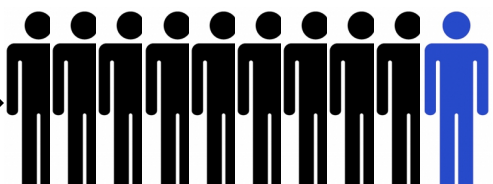
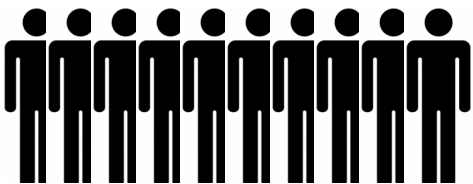
不変 : 改善
3 : 7



同意を得て
から試験開始

薬なし
(偽薬)

不変 : 改善
9 : 1



ランダム化比較試験

かぜ薬では？

- 小児に対するかぜ薬のランダム化比較試験は非常に少なかった。

→偽薬群と比較していなかったり、動物実験だけのデータしか無いの薬もある



かぜ薬では？

- 以前はかぜ薬の効果は曖昧であったが、近年少しずつランダム化比較試験のデータが集まっている。
- コクランレビューではデータの解析結果を公表している。



各種かぜ薬の効果

1. 抗ヒスタミン薬(鼻止め)

■効果 第一世代 > 第二世代

■副作用 第一世代 > 第二世代

・小児では安全性の観点から
第二世代の使用が中心となっている

1. 抗ヒスタミン薬(鼻止め)

- かぜの成人における第二世代薬の検討

	鼻みず 治療4日目	鼻づまり 治療3-5日目
薬あり	両群に 差無し	軽度悪化
偽薬のみ		

1. 抗ヒスタミン薬(鼻止め)

- かぜの成人における第二世代薬の検討

	鼻みず 治療4日目	鼻づまり 治療3-5日目
薬あり	両群に 差無し	軽度悪化
偽薬のみ		

- 鼻みず、鼻づまりには**無効**
- 小児における効果は不明

2. 去痰薬

- かぜの小児における検討

	咳が続く割合 治療7日目	発熱/呼吸苦 治療7日目
薬あり	10% ↓	両群に 差無し
偽薬のみ		

2. 去痰薬

- かぜの小児における検討

	咳が続く割合 治療7日目	発熱/呼吸苦 治療7日目
薬あり	10% ↓	両群に
偽薬のみ		差無し

- 去痰薬は少しだけ咳を改善する
 - 呼吸苦や発熱に効果はない

3. 鎮咳薬 分類

■効果 デキストロメトルファン>チペピジンヒベンズ酸塩

■副作用 デキストロメトルファン>チペピジンヒベンズ酸塩

- 小児では安全性の観点からチペピジンヒベンズ酸塩が頻用される
- チペピジンヒベンズ酸塩にはヒトに対するデータがほとんどない
 - 近年、蜂蜜が咳に有効であるという報告がある
(ただし、1歳未満の蜂蜜使用は禁忌)

3. 鎮咳薬 デキストロメトルファン/蜂蜜

- 急性咳嗽の小児における検討

	咳の程度 治療1日目	睡眠 治療1日目
蜂蜜	蜂蜜/薬群	蜂蜜/薬群
鎮咳薬	で症状 ↓	で質 ↑
偽薬		

3. 鎮咳薬 デキストロメトルファン/蜂蜜

- 急性咳嗽の小児における検討

	咳の程度 治療1日目	睡眠 治療1日目
蜂蜜	蜂蜜/薬群	蜂蜜/薬群

- 蜂蜜/デキストロメトルファンは治療早期に有効
 - 蜂蜜は1歳未満は使用禁止！
- デキストロメトルファンは副作用が多く注意が必要
 - チペピジンヒベンズ酸塩はヒトのデータが無い

4. 気管支拡張薬

- ぜんそく症状のない、かぜの小児における検討

咳の程度

治療1日目 2日目 3日目 4-7日目

薬あり

両群に差無し

偽薬のみ

4. 気管支拡張薬

- ぜんそく症状のない、かぜの小児における検討

咳の程度

治療1日目 2日目 3日目 4-7日目

薬あり

両群に差無し

偽薬のみ

- ぜんそくが無ければ咳に無効

5. 解熱鎮痛薬

- かぜの成人/小児における検討

頭痛/筋肉痛/耳痛	咳/鼻症状
薬あり 偽薬のみ	両群に 差無し

5. 解熱鎮痛薬

- かぜの成人/小児における検討

頭痛/筋肉痛/耳痛	咳/鼻症状
薬あり 偽薬のみ	両群に 差無し

- 痛みなどの不快感軽減に有効
- 咳や鼻の症状に効果はない

6. 整腸剤

- 成人/小児の急性下痢症における検討

小児ロタウィルス患者 下痢の持続時間	小児・成人全体 下痢の持続時間
薬あり 偽薬のみ	-29時間 -24時間

6. 整腸剤

- 成人/小児の急性下痢症における検討

小児ロタウィルス患者 下痢の持続時間	小児・成人全体 下痢の持続時間
薬あり -29時間	-24時間
偽薬のみ	

- 整腸剤は**下痢の持続を短くする**

7. 制吐剤

- 小児の急性胃腸炎における検討。まず経口補水液で治療し、その後も嘔吐継続した児において制吐剤または偽薬を投与

経口補水だけで 治療成功	経口補水治療失敗の内 点滴必要な割合
経口補水 63.4%	
制吐剤	両群に 差無し
偽薬	

7. 制吐剤

- 小児の急性胃腸炎における検討。まず経口補水液で治療し、その後も嘔吐継続した児において制吐剤または偽薬を投与

経口補水だけで 治療成功	経口補水治療失敗の内 点滴必要な割合
経口補水 63.4%	

- 経口補水液のみで60%以上は改善
- 経口補水だけでは止まらない嘔吐に制吐剤は無効

8. 抗生物質(抗菌薬)

- かぜの小児/成人における抗生物質の検討

症状持続期間 治療1-7日	副作用による症状
薬あり 両群に 偽薬のみ 差無し	症状 ↑

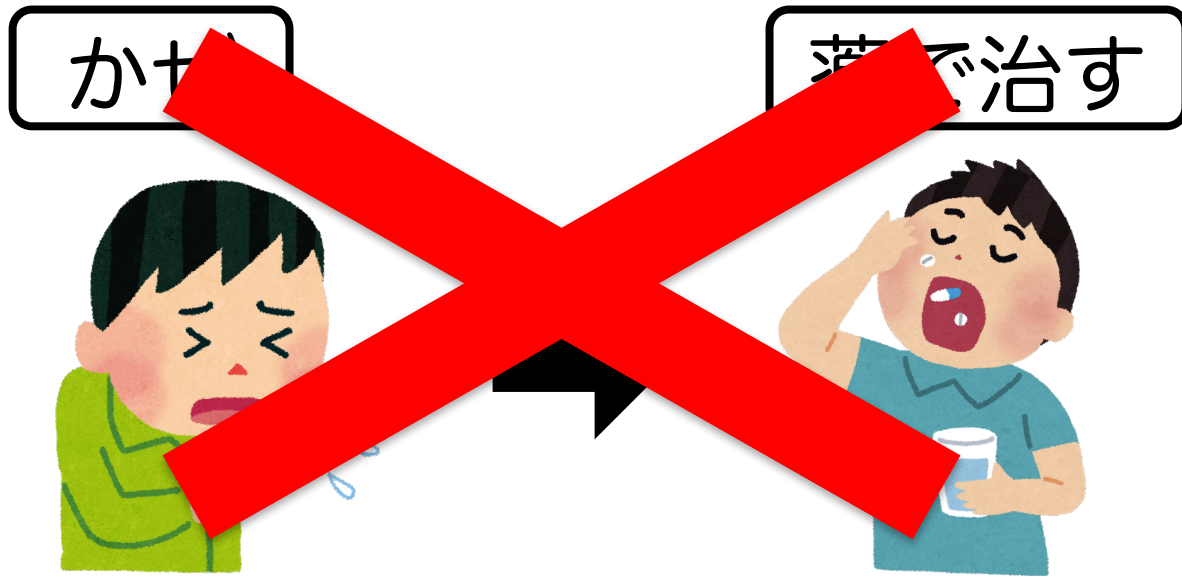
8. 抗生物質(抗菌薬)

- かぜの小児/成人における抗生物質の検討

症状持続期間 治療1-7日		副作用による症状
薬あり	両群に	症状 ↑
偽薬のみ	差無し	

- 抗生物質で**症状は改善しない**
 - 副作用は出現する

- かぜ薬の多くは無効、または軽度の有効性に過ぎない。



■ 全ての薬には副作用がある。

- 抗ヒスタミン薬 : 眠気、口渇、痙攣誘発
- 去痰薬 : 下痢、消化器症状
- 鎮咳薬 : 呼吸抑制、眠気
- 気管支拡張薬 : 震え、動悸、電解質異常
- 解熱鎮痛薬 : 肝機能障害
- 整腸剤 : 乳製品アレルギー患者は禁止
- 制吐剤 : 錐体外路症状
- 抗生剤 : 下痢、耐性菌の増加
- 全ての薬剤 : 薬剤アレルギー

Q. かぜの治療において
薬は本当に重要？

A. 少なくとも、治療に
重要とは言えない

かぜに対して
重要なこととは？

病院でできること



■ 本当にかぜ？

- ・ 重大な疾患や治療可能な疾患のことも
(肺炎、尿路感染症、髄膜炎、溶連菌感染など)

■ たかがかぜ、されどかぜ

- ・ 重症の場合、点滴や入院管理が必要なことも

家庭でできること



■ 栄養・安静・水分

- ・ かぜには一番の、そして唯一の治療法

■ 看病

- ・ そばにいる、優しい言葉をかける、それだけでこどもにとって大きな支えになるでしょう

本日のまとめ

- かぜ薬の効果はかなり限定的です。少なくとも、治療に重要ではありません。
- かぜの治療は安静・栄養・水分、そして看病です。薬に頼りすぎず、病気を克服していきましょう。
- かぜと思っているにも、「重症か？」「他の疾患ではないか？」の判断は難しいものです。迷うときは受診を考えましょう

ご静聴ありがとうございました

